

JASDAQ

証券コード：4970

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

株主の皆様へ

 **TOYO GOSEI**

第60期 株主通信

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

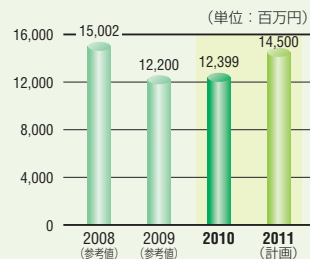


 東洋合成工業株式会社

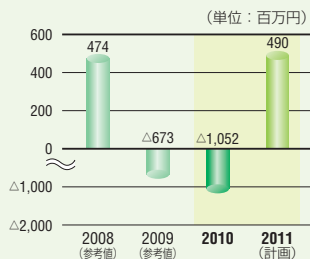
Financial Highlight

財務ハイライト

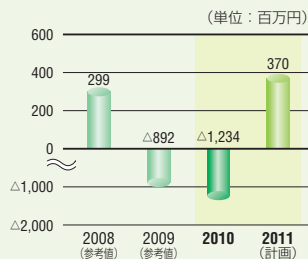
売上高



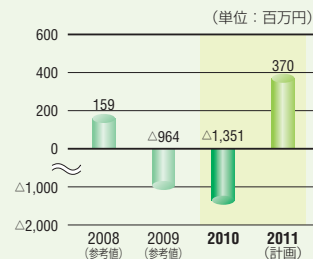
営業利益



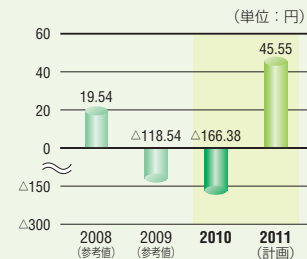
経常利益



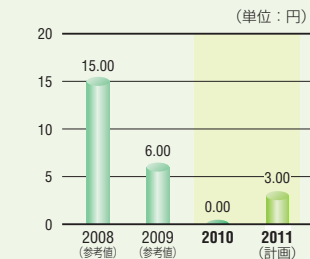
当期純利益



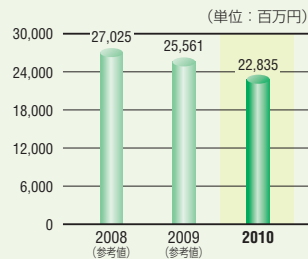
1株当たり当期純利益



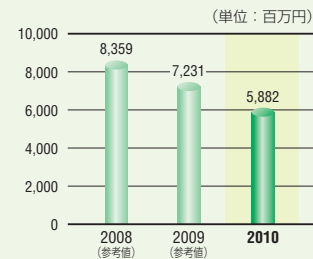
1株当たり配当金



総資産



純資産



※当社は、株式会社トランスパレント社を今後の有力な成長分野と見込み、平成22年3月期より、同社を当社連結対象といたしました。

Message to Our Stakeholders

株主の皆様へ

■ ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第60期株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

60期に入り、4月より工場の操業を停止し、会社経営の継続を第一とした緊急対策を実施いたしました。需要は夏を迎える頃より徐々に回復し始め、積み上がった在庫が減少に転じたことにより、9月より順次、製造設備の稼働を開始いたしました。平成22年3月末の在庫は、今次不況の教訓を経営に反映させ、在庫の削減に努めたことにより、大幅に減少させております。また、経費削減を中心とした経営改善に取り組み、期初見込より売上を増加させた結果、最終赤字を減少させるに至りましたが、期前半の工場停止の負担による製造原価の上昇に伴い、決算は大幅な赤字となりました。

なお、当期末の剰余金の配当は、通期の業績が大幅に悪化し、財務体質の強化を図る必要があることから、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただくことといたしました。

■ 当期の連結経営成績（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位：百万円)	当期実績
売上高	12,399
営業利益	△1,052
経常利益	△1,234
当期純利益	△1,351

【感光性材料事業】

当社グループの主力事業であります感光材事業の売上は回復してまいりましたが、液晶ディスプレイの製作時に使用される感光材は円高による国際競争力の低下で、収支の改善が困難な状況であります。一方、集積回路の製作時に使用される先端技術の感光材は、「Windows7」の発売に伴うパソコン販売増加等により、引き合いが増加しております。今後も既存製品のコスト削減に努め、先端製品の販売増大に真剣に対処し、収支を改善したいと思っております。

【化成品事業】

一方、化成品事業におきましては、溶剤回収精製は、国内化学産業の復活に伴い、需要が回復し始めております。また、香料材料では、前期より稼働した新規装置の運転の改善が進んだことで、収率が向上し、生産量が増加しております。この状況の改善に併せ、販売促進に一層努め、売上の増加を図り、感光材の不振をカバーしたいと存じております。液体化学品保管業務は、石油化学品の在庫の増加で、現在は全タンクの契約を引き続き継続させていただいております。

■ 次期の連結業績見通し（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(単位：百万円)	次期の見通し
売上高	14,500
営業利益	490
経常利益	370
当期純利益	370

当社グループの主要関連業界であるエレクトロニクス業界は、新興国市場を中心とした需要の持続が見込まれるものの、メーカー間の競争激化による価格引き下げ要求が一層強まるものと予想しております。また、景気回復とともに、汎用化学品業界における原材料価格の上昇等が懸念されることから、今後も楽観を許さない状況が続くものと予想されます。

しかしながら、当社グループは厳しい経営環境下においても収益を生み出す事業体質を実現してまいります。具体的には、顧客との関係強化、研究開発のスピードアップによる新需要の開拓、製造会社の基本である原価低減の徹底を推進することにより、生産性を向上させ、競争力を強化し、売上・利益を増大してまいります。

欧州金融情勢などの不安定要因はあるものの、今後とも経営改善努力を継続することで黒字達成を実現し、株主の皆様のご期待に沿うよう、努力していく所存であります。引き続き株主の皆様にはご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、次期の通期業績見通しは黒字化を見込んでいることから、年間配当金として1株当たり3円の復配（期末配当）を予定しております。

平成22年6月



代表取締役社長

木村正輝

Segmental Information

●感光材事業●

液晶テレビや半導体の製造を支えています



感光材は、液晶テレビや半導体の製造工程で使用される回路パターンを形成する材料であるフォトレジストの原材料になります（フォトレジストは、感光材と溶剤等から作られます）。

当社の感光材は高性能かつ高品質の製品として高い評価をいただいております、世界トップクラスのメーカーとして高いシェアを有しています。また、大学と共同で次世代型の感光材の研究開発にも積極的に取り組んでいます。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

●香料材料事業●

世界に広がる香りをつくる



食品香料（フレーバー）や化粧品香料（フレグランス）の素材となる単品香料を作っているのが、香料材料事業部です。食品や化粧品の香りは、何十種類もの素材を調合して作られています。当社はその香りの素材となる単品香料を製造して世界各国の大手香料会社に販売しています。当社の単品香料は、香料として一番重要な“匂い”の品質が高度に安定しており、国内外の香料会社から高い評価を得ています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

●エネルギー事業●

燃費の向上やCO₂削減に寄与する未来の液体



近年、各自動車メーカーでは、ハイブリッド自動車や燃料電池車にエネルギーの有効利用を目的とした電気二重層キャパシタを搭載することが検討されています。当社では、この電気二重層キャパシタ用の電解液及びイオン液体の製造販売を行っています。

イオン液体の使用は多くの分野で研究されており、環境負荷の少ないグリーンケミストリー用反応溶媒や安全で高性能な次世代電解質としての活用が望まれています。また、フォトレジスト用現像液TMAHの製造販売も行っています。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

●グリーンケミカル事業●

地球温暖化、大気・水質汚染問題解決に貢献



塗料、電子・電気部品、自動車、製薬、化学等広範な分野では多様な有機溶剤が使われています。こうした廃溶剤の多くは再利用されことなく大気に放出もしくは、燃焼処理されてきました。当社はユーザーで使用された廃溶剤を引き取り、再利用できるように精製を行い、新品同様に蘇らせます。

当社では特に高度な蒸留技術が求められる半導体などの電子部品材料用溶剤のリサイクルで高い実績を誇っています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

各事業部門のご紹介

●ロジスティック事業●

月間200隻の船舶と3,000台のローリーに対応



高浜油槽所において、大手石油化学メーカーや商社の液体化学品を船で受け入れ、一時保管し、タンクローリーで関東各地のユーザー様へ配送を行っています。

受け入れ船舶は月間200隻、ローリーでは3,000台の出荷に対応できます。また、化学メーカーとして長年培ってきた化学品の取り扱い、管理、分析の技術と最新の設備により、安全かつ環境にも配慮した万全の体制を備えています。
所在地：高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）

●新規事業開発●

ナノテク分野、バイオ分野の研究開発



ナノテク分野では、UVナノインプリント専用の樹脂を世界で初めて発売しました。ナノインプリントは、他の微細加工技術では困難な大面積加工が可能のため、次

世代型加工技術として注目されています。

バイオ分野では、新薬開発における探索研究や前臨床試験を支援する製品「Cell-able（セルエイブル）」のプレートを製造しています。製薬メーカーは、Cell-able使用による研究開発費の削減、開発期間の短縮に期待を寄せています。
所在地：感光材研究所（千葉県印西市）

連結決算の開始について

当社は、株式会社トランスパレント社を今後の有力な成長分野として見込み、平成19年11月に同社の株式を取得（子会社化）いたしました。現在、同社はマーケティング活動を本格化させております。今後、商業化に向け、当社における重要性が増す見込みであるため、今期より同社を当社連結対象といたしました。

トランスパレントHP

<http://www.transparent.co.jp/>



アンケートハガキへのご協力をお願い

今後の経営施策検討にあたり、株主の皆様からも当社経営へのご要望、ご提案をいただきたいと考えております。お手数とは存じますが、同封のアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。ご協力いただいた方のうち抽選で100名様にQUOカード1,000円分を8月中旬頃送付させていただきます。

- ※平成22年7月30日(金)当社着にて締め切らせていただきます。
- ※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
- ※回答欄の下部に必ず株主番号及びお名前をご記入願います。
- ※アンケートご記入後、同封のプライバシー保護シールを貼って投函してください。
- ※個人情報保護に配慮し、ご記入いただいた個人情報は当社のIR活動以外に活用することはありません。

Financial Statements

財務諸表（要旨）

■ 貸借対照表（連結）

（千円未満切捨表示）

科目	当期末 平成22年3月31日現在
資産の部	
流動資産	7,588,249
固定資産	15,247,265
資産合計	22,835,514
負債の部	
流動負債	9,957,298
固定負債	6,995,980
負債合計	16,953,278
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,618,888
資本剰余金	1,541,589
利益剰余金	2,730,062
自己株式	△ 12,578
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	2,668
少数株主持分	1,605
純資産合計	5,882,235
負債純資産合計	22,835,514

■ 損益計算書（連結）

（千円未満切捨表示）

科目	当 期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
売上高	12,399,317
売上原価	11,494,127
売上総利益	905,190
販売費及び一般管理費	1,957,856
営業損失（△）	△ 1,052,665
営業外収益	109,613
営業外費用	291,239
経常損失（△）	△ 1,234,292
特別利益	19,851
特別損失	129,531
税金等調整前当期純損失（△）	△ 1,343,972
法人税等	8,628
少数株主損失（△）	△ 1,115
当期純損失（△）	△ 1,351,485

■ キャッシュ・フロー計算書（連結）

（千円未満切捨表示）

科目	当 期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,075,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,560,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,227,928
現金及び現金同等物の当期末残高	829,473

*平成22年3月期より連結財務諸表を作成しておりますので、対前期につきましては記載しておりません。

■ 株主資本等変動計算書（連結）（当期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

（千円未満切捨表示）

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成21年3月31日残高	1,618,888	1,541,589	4,081,547	△ 12,578	7,229,446	2,187	2,720	7,234,355
当期中の変動額								
当期純損失（△）			△ 1,351,485		△ 1,351,485			△ 1,351,485
株主資本以外の項目の 当期中の変動額						480	△ 1,115	△ 634
当期中の変動額合計			△ 1,351,485		△ 1,351,485	480	△ 1,115	△ 1,352,120
平成22年3月31日残高	1,618,888	1,541,589	2,730,062	△ 12,578	5,877,961	2,668	1,605	5,882,235

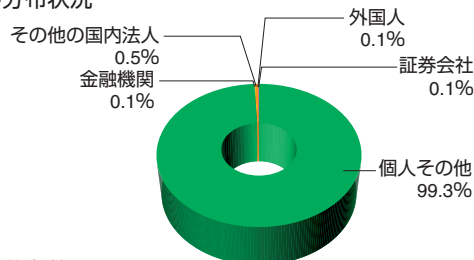
Stock Information

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

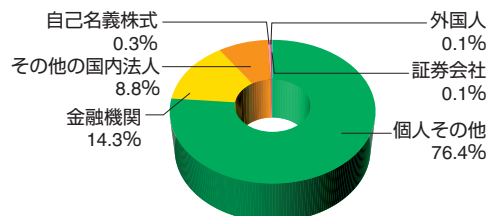
■ 発行可能株式総数	30,000,000株
■ 発行済株式総数	8,143,390株
■ 株主数	13,504名
■ 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
木村正輝	1,637	20.11
木村有仁	394	4.85
木村愛理	383	4.70
千葉銀行	298	3.66
東京都民銀行	298	3.66
早稲田大学	200	2.46
片岡文子	183	2.25
昭和エンジニアリング	170	2.09
東洋合成工業社員持株会	156	1.92
ニッセイ同和損害保険	140	1.72

■ 株主の分布状況



■ 株式の分布状況



Corporate Profile

会社の概要 (平成22年3月31日現在)

■ 商号	東洋合成工業株式会社
■ 本社	千葉県市川市上妙典1603番地
■ 設立	昭和29年9月27日
■ 資本金	1,618,888,703円
■ 従業員数	378名
■ 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売 2. 画像形成用の感光性材料等の製造並びに販売 3. 電子表示機器の材料等の開発、製造並びに販売 4. 電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売 5. 酵素蛋白、細胞を特定形状化するための感光性樹脂の研究開発、応用品の製造並びに販売 6. 化学機械・装置（反应用機器、蒸留塔、抽出器、濾過器、乾燥機等）の設計、製作並びに設置工事 7. 前各号に掲げる物品の輸出及び輸入 8. 倉庫業 9. 貨物運送取扱業 10. 前各号に付帯関連する一切の事業
■ 事業所	東京営業所 東京都中央区八丁堀4丁目13番1号 高浜油槽所 千葉県市川市高浜町7番地 感光材研究所 千葉県印西市若萩4丁目2番1号 市川工場 千葉県市川市上妙典1603番地 千葉工場 千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号
■ 関係会社	株式会社トランスバレント TG Finetech Inc.

■ 役員

代表取締役社長	木村正輝
専務取締役	川村繁夫
常務取締役	木村有仁
取締役執行役員	菊地英夫
	渡辺宏一
執行役員	小島邦彦
	萩原勇一
	佐藤一
	多田健太郎
監査役	伊藤衛
	萩原正一
	宇田川進
	鳥井勉

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。



当社ホームページでは、事業内容のご紹介、IR情報、環境活動など様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。

<http://www.toyogosei.co.jp/>

東洋合成工業株式会社

〒272-0012 千葉県市川市上妙典1603番地
TEL047-327-8080 FAX047-327-8055
E-mail : ir@toyogosei.co.jp

